

# 下田小だより

平成27年12月14日号  
文責 久留米市立下田小学校  
校長 大久保美加

## 2学期を振り返って

2学期もあと10日余りとなりました。3日の持久走大会は、たくさんの温かい声援をありがとうございました。子ども達は「力を出し切ること」のきつさと喜びを味わうことができ、貴重な体験をまた一つ積み重ねたと思います。6日のリサイクル活動も朝早くからご協力いただきまして、春以上の量が集まりました。心よりお礼申し上げます。また、その後の複式学級等の説明会にも多数お残りいただき、ありがとうございました。お話をさせていただきながら、小規模校の良さをさらに発揮していきたいという思いを強くいたしました。

さて、2学期は初めて8月下旬の始業式で暑さを心配していましたが、気候の涼しさも手伝ってスムーズにスタートを切ることができました。一大行事の運動会も練習や準備をがんばり、みんなで創り上げた運動会を保護者や地域の方々に見ていただくことができました。祖父母学級にはたくさんのおじいさん、おばあさんにおいでいただき、子ども達とのふれあいを楽しんでいただきました。収穫祭では、保護者や地域の方々の多大なご支援でおいしいおもちをたくさんつくことができ、「収穫」の喜びを実感できました。大きな行事もですが、日々の学習でも「しっかり聴く」「しっかり自分の考えをつくる」「しっかり書く」「しっかり話す」ことを中心に「みんなで学び合う」学習を進めてきました。「勉強が分かるようになった」「友だちの考えを聴いて自分の考えに付け加えることができた」「前のノートを参考にしたら自分で問題を解けた」などの声がよく聞こえてきました。今の自分を知ることで「もっとがんばりたいこと」が見えてきます。そして、「やればできるんだ」という経験が多くなることで次への意欲が高まります。65人が「のびゆく子ども」を見て、「がんばった」と実感できるように、また、笑顔で終業式を迎え、1月8日を楽しみにできるように、私たちもしっかりまとめていきたいと思っています。

## ～ 学校生活の1コマ～



食べ物について学ぶ食育スタンプラリー 読書の楽しさをアピールするパネルシアターや読みきかせ

## 自己効力感を高めていこう！

ある課題に直面したとき、「達成できそう」と思うか「絶対無理」と思うかで、その活動への取り組みが大きく違ってきます。「自分はできそうだ」という可能性を認知することを自己効力感といいます。自己効力感を高めるためには、・達成経験・代理経験（達成した人を見ること）・言語的な励まし・想像体験（自分が達成したときの姿を想像すること）が大事だそうです。今日から20日まで『スローメディアウイーク』です。読書をしているときには、「あとでどんな話が聞かせてね。」と、計画通りにできたら「すごいね」、できなかったら「あとちょっとだったね」などの声かけや励ましをどうぞよろしくお願いします。

### 【1月の予定】

8(金)	始業式(11:30下校予定)	18(月)	スローメディアウイーク(～24)
12(火)	発育測定[1,2,3年]		城島中学校入学説明会[6年生]
13(水)	発育測定[4,5,6年]	19(火)	地震避難訓練
	委員会活動	20(水)	クラブ活動
14(木)	読み聞かせ	21(木)	お誕生給食
	アウトリーチ事業[4年生]	22(金)	スクールカウンセラー来校
15(金)	A L T来校	25(月)	フレンドリーウイーク(～27)
		28(木)	先生読み聞かせ
		29(金)	代表委員会

